

三重県文化会館プロデュース 日台国際共同プロジェクト日本公演

「第七劇場」代表・鳴海康平氏と台湾人女優・蔡亘晏氏が 知事を表敬訪問いたします。

津市美里町に拠点を置き、国内外で演劇公演を続ける「第七劇場」と、台湾・台北市に拠点を置き、世界中で活躍する実力派カンパニー「Shakespeare's Wild Sisters Group」による演劇の国際共同プロジェクトの日本公演を平成 28 年 11 月 26 日（土）、27 日（日）に三重県文化会館小ホールで開催します。

この開催に向けて、「第七劇場」代表の鳴海 康平氏と、交流のため「第七劇場」とともに出演される台湾人女優の蔡 亘晏氏が知事を表敬訪問いたします。

1 日 時 平成 28 年 11 月 4 日（金） 11 時 40 分～12 時

2 場 所 三重県庁 3 階 プレゼンテーションルーム（津市広明町 13）

3 訪問者 鳴海 康平 様 （劇団「第七劇場」代表・演出家）
蔡 亘晏 (Hana TSAI) 様

（女優・劇団「Shakespeare's Wild Sisters Group」所属）

4 対応者 三重県知事 鈴木 英敬

5 鳴海 康平氏のプロフィール

第七劇場、代表・演出家。津あけぼの座、四天王寺スクエア、Théâtre de Belleville 芸術監督。

1979年北海道紋別市生まれ。三重県津市在住。早稲田大学在籍中の1999年に劇団を設立。「風景」によるドラマを舞台作品として構成。国境を越えることができるプロダクションをポリシーに製作し、ストーリーや言語だけに頼らないドラマ性が海外で高く評価される。ポーラ美術振興財団在外研修員（フランス・2012年）として1年間渡仏し活動。帰国後2013年に日仏協働作品『三人姉妹』を新国立劇場にて上演。

6 蔡 亘晏氏のプロフィール

国立台北芸術大学演劇学科卒業、演技専攻。大学在籍時より、役者としての活動を開始。俳優として映画、舞台などにも出演しながら、ダンサー、CM活動など様々なフィールドで活躍している。今年の公演では、日本側作品「罪と罰」に出演。

7 三重県文化会館プロデュース・日台国際共同プロジェクトについて

三重県津市美里町に拠点を置き、国内外で演劇公演を続ける「第七劇場」と、台湾・台北市に拠点を置き、世界中で活躍する実力派カンパニー「Shakespeare's Wild Sisters Group」による3年間という長期スパンで行う演劇の国際共同製作プロジェクト。今年は、日本側の「罪と罰」に台湾人女優が1名加わり、台湾側の「地下室の

手記」に日本人女優 1 名が出演する。日本公演は三重県文化会館のみで、台湾公演は、台南市で行われる新舞台芸術フェスティバルにて公式プログラムとして上演される。

※日台国際共同プロジェクト・日本公演概要

- (1) 演 目 「罪と罰」：日本語上演・中国語字幕
「地下室の手記」：中国語上演・日本語字幕
- (2) 日 程 平成 28 年 11 月 26 日（土）18 時開演
平成 28 年 11 月 27 日（日）14 時開演
- (3) 会 場 三重県文化会館 小ホール（津市一身田上津部田 1234）
- (4) 上演予定時間
約 120 分（2 作品連続上演） 両日共アフタートークあり
- (5) 料 金 一般前売 2,500 円（当日 3,000 円）
25 歳以下 1,000 円
18 歳以下 500 円
※未就学児入場不可（27 日公演のみ託児あり）
- (6) チケット問い合わせ
三重県文化会館チケットカウンター 電話：059-233-1122

日台国際共同プロジェクト特設サイト

<http://notes-exchange2016.tumblr.com/>

Facebook ページ

<https://www.facebook.com/notesexchange/>